

# 作業療法士からのヒント満載！

## 学童保育での発達障がい児サポート講座①

岡山県備中県民局協働事業として、「地域でチームで長い目で、学童保育を核に発達障がいがあっても安心して暮らせる備中地域づくり」事業を実施しています。夏休みには、倉敷市内の6つのクラブを15人の作業療法士が訪問して、発達障がいがある、または可能性がある子どもたちへの関わりをコンサルテーションしました。各クラブの指導員のみなさんからはとても参考になったとの声が寄せられています。

この度、このコンサルに参加していただいた作業療法士さんによる連続講座を開催します。急なご案内で申し訳ありませんが、ぜひ、ご参加ください。(備中県民局管内以外の方もご参加いただけます。)

**2016年9月20日(火) 10:00~12:00**

総社市保健センター 2階 健康指導室 〒719-1192 総社市中央一丁目1-3 TEL 0866-92-8259

参加費：無料(先着順)

講師：小林隆司 先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科作業療法学科教授)

- ① 作業療法士の仕事とは
- ② 2015年度岡山県内「障害を持つ児童への対応に関する学童保育における支援ニーズ調査」報告
- ③ 夏休み学童保育OTコンサルを実施しての具体例 (予定)

【今後の予定】

10/6 木	10:00~12:00	作業療法士からのヒント②(感覚統合)	同上	森川芳彦先生(川崎リハビリ学院)
11/2 水	10:00~12:00	作業療法士からのヒント③(検討中)	同上	河本聡志先生(倉敷成人病センター)
12/18 日	10:00~12:30	就労を見据えた子どもの支援	浅口市	シンポジウム
	午後	現場での支援を交流(検討中)	浅口市	

### 備中県民局協働事業で目指すこと

学童保育での「発達障害のある子どもと保護者への支援」は年々大きなテーマとなっており、様々な試行をしているが、学童保育の関係者だけで取り組めることではなく、広く地域で、様々な立場の人と協力し、乳幼児期から学童期、思春期、青年期と長い目で見とおした支援や関わりが重要である。特に、2015年度からは小学校6年生までの受け入れが決まり、成長著しい学童期の6年間を継続して見守ることのできるようになった。学童保育が核になり、さまざまな機関が集まり、それぞれの支援や活動を知り、協力関係をつくる。備中地域の各市町村の先進的な取り組みを学び、各市町村に生かす。

参加申込み: [gakudou@mx6.tiki.ne.jp](mailto:gakudou@mx6.tiki.ne.jp) または FAX086-801-5072 問合せ 090-7131-5672(糸山)

学童クラブ名	参加者名	
昼間の連絡先		
市町村		

切らずに、このまま、ファックスしてください。